



mogami ecopolis tsushin

山形県最上総合支庁 隔月発行  
最新情報はX(旧ツイッター)でご覧ください



## 地域の新たなビジョンを描く「最上創生懇談会」

1月23日、最上地域で活躍されている方々の声を聞き、県の施策展開に活かす「最上創生懇談会」を開催しました。高校生を含め、様々な分野から9名の方にご出席いただき、「地域における課題と今後の施策展開の方向性」をテーマに意見を交わしました。

出席者からは、「若い優秀な人材を確保するため、旧県立新庄病院跡地などに若者が集えるソーシャルアパートメントを設けるなど、県有財産の有効活用を検討してはどうか。」といった意見や、高校生からは「地域学習で提案したアイデアが実際に活かされるよう、若者の声と地域の取組みをつなげる架け橋となる場所を増やしてほしい。」といった意見が出されました。吉村知事からは、「地域に住んでいる人が前向きにチャレンジし続けること、良いところを発信していくことが大事。」といったお話がありました。

いただいたご意見、ご提言につきましては、今後の施策等を検討するうえで活かしてまいります。



[連携支援室 29-1236]

## 令和6年 能登半島地震の募金を受付しています

令和6年元日に発生した石川県能登半島を震源とする地震により、日本海沿岸の各地が甚大な被害を受けました。

最上総合支庁ロビーに被災地を支援するための義援金の募金箱を設置しています。皆様のご支援をお願いいたします。また、県では専用口座での受付も行っております。



1月17日には新庄南高等学校の生徒の皆さんから学校で集めた募金をお預かりしました。生徒の皆さんの温かいご支援は、義援金として被災地にお届けしました。

- ① 口座名義：令和6年能登半島地震山形県義援金  
レイワロクネンノトハントウジシヤマガタケンギエンキン
- ② 口座番号：山形銀行 県庁支店 普通 3138526
- ③ 受付期間：令和6年3月31日(日)まで
- ④ その他

- ・山形銀行本支店の窓口、ATM及びインターネットバンキングから振込を行う場合、振込手数料はかかりません。  
(ただし、平日9時から18時以外の時間帯は、ATMの時間外手数料が必要です。)
- ・荘内銀行及びきらやか銀行の本支店の窓口から振込を行う場合、振込手数料はかかりません。



[保健企画課 29-1273]

## 最優秀賞決まる『幻想の光跡』 ～最上小国川写真コンテスト～



★最優秀賞『幻想の光跡』  
太田 稔 氏 (最上町)

1月9日、最上小国川清流未来振興機構が主催する「最上小国川写真コンテスト」の審査委員会が最上町中央公民館で行われました。本年度で第8回となった本コンテストでは、県内外の33名の方から、計85点のご応募をいただきました。

その中から見事、最優秀賞に選ばれたのは、静かに流れる最上小国川を奥行感のある構図で捉え、幻想的に飛び交うホタルの光で清流の美しさや豊かな自然を表現した、太田 稔 氏 (最上町) による『幻想の光跡』です。

今回は、最優秀賞、優秀賞の4作品をご紹介します。また、入賞作品は、最上総合支庁のロビーに展示しておりますので、ぜひご覧ください。今後こうした活動を通して、最上小国川の魅力の発信に取り組みでまいります。

[連携支援室 29-1238]



●優秀賞『静と動』  
井上 孝男 氏 (新庄市)



●優秀賞  
『小国川のモンスター80cm6キロ』  
佐藤 康光 氏 (宮城県利府町)



●優秀賞『小国川冬紀行』  
千葉 学 氏 (宮城県大崎市)

## 令和5年度最上地域農林水産業若者賞受賞

1月24日、最上総合支庁において、令和5年度最上地域農林水産業若者賞表彰式を開催し、最上町の高橋 孝彰 氏、鮭川村の津藤 伸 氏が受賞されました。

最上地域農林水産業若者賞は、最上地域の農林水産分野で活躍する最上地域の若者の優れた功績・成果、地域の課題解決に向けた地道な取り組みなどを顕彰することにより、地域の農林水産業の振興発展や人材育成に資することを目的とした最上総合支庁長による表彰です。

～受賞者の御紹介～

【高橋 孝彰 氏】

最上町でシャインマスカットを先駆的に栽培する等、新しい分野に積極的に挑戦されています。また、冬季にたらの芽栽培も行い、周年農業に取り組むほか、アスパラガスの生産も手がけています。

【津藤 伸 氏】

鮭川村で水稻と菌床しいたけ栽培の組み合わせで周年農業に取り組まれています。また、村内の産業振興・地域の活性化を目的としたイベントに積極的に参加されるとともに、小学校の「きのこの日給食」に関わるなど食育にも取り組んでいます。[地域産業経済課 29-1307]



高橋 孝彰 氏  
(最上町)

津藤 伸 氏  
(鮭川村)

## 今年度の活動をふりかえる 「新庄・最上ジモト大学ミーティング 2023」

12月23日、今年度のジモト大学の活動をふりかえる「新庄・最上ジモト大学ミーティング 2023」を開催し、高校生や大学生、地元企業・団体など70名を超える方々にご参加いただきました。

今年度から、高校生が“地元でやりたいこと”をプログラムとして自ら企画し、地域の大人や企業がジモト大学サポーターとして応援する取組みがスタートしました。第1部のトークセッションでは、実際にプログラムを立ち上げた高校生と活動をサポートした地域の大人の方々から、プログラムを始めるきっかけやどんなふうに活動してきたかなどお話をいただきました。

第2部の意見交換では、「よりワクワクするジモト大学にしていくには」をテーマに、高校生と大人が意見を出し合いました。高校生からは、「他校生ともっと関われるようになると良い。」「企画段階から一緒に作っていけると達成感がある。」といった声が聞かれました。

来年度はさらにパワーアップしたジモト大学をお届けできるよう、引き続き地域の皆さんとともに取り組んでまいります。

[連携支援室 29-1236]



## 令和5年度最上地区青少年育成懇談会 ～大人と生徒の対話会～

12月10日、児童・生徒と地域の大人の対話会を兼ねて最上地区青少年育成懇談会を新庄市民プラザで開催しました。

当日は、生徒会代表と市町村ボランティアサークルの高校生、青少年育成団体代表者等44名に出席いただきました。「これからの社会をたくましく生き抜いていくために」のテーマで、3グループに分かれて熱心な意見交換が行われました。特に、参加した高校生の意識が高く、大人の考え方や体験談に耳を傾け、これからの人生と重ね合わせて深く考える契機となったようです。後段では、地域を明るく、元気にするメッセージを以下のようにまとめ、発信していくこととしました。

- ◎つながる力で温もりある地元をのびのび前へ
- ◎『あれがない?』いや『これがある!!』人と人が協力してコミュニケーションがとれること
- ◎日常に感謝 小さな幸せを見逃さない 自分の目で見る
- ◎違いは魅力 あたためつつつながりを  
～ささいなことにも ありがとうと言える  
ささいなことでも ごめんなさいと言える  
そんな気持ちを持とう～

[子ども家庭支援課 29-1245]



## 「観光地域づくり勉強会」の開催

1月19日、最上地域観光協議会（事務局：最上総合支庁観光振興室）が、「他地域の事例で学ぶ観光地域づくり」と題し、観光地域づくりの勉強会を開催しました。

当日は、（一社）やまがたアルカディア観光局の丸山事務局長と（一社）DEGAM 鶴岡ツーリズムビューローの大宮常務理事からご講話いただき、置賜・庄内地域での観光地域づくり（DMO）の取組みや設立経緯、目指す方向や課題などをお聴きしました。

宿泊施設や観光立寄施設、商工会議所、観光協会など、25名の協議会会員が参加し、「インバウンドのターゲットはどこか、その理由は」「観光地域づくりをとおして地域住民に何か変化があるか」などの質問があり、講師との意見交換が行われました。

最上地域観光協議会では、最上地域の観光振興に向けて、今後も観光地域づくりの勉強会を開催することとしています。

[観光振興室 29-1311]



## 進路を考える学習会～めざせ医療・介護のしごと～

最上地域の医療・介護分野の人材確保を図るため、管内の小中学生を対象に、将来の職業として医療・介護の仕事に関心を持っていただけるよう「進路を考える学習会～めざせ医療・介護のしごと～」を開催しています。

今年度第4～6回目として、1月16日に戸沢学園の8年生、1月18日に升形小の5・6年生、1月23日に八向中学校の1年生を対象に、医療・介護従事者を講師にお迎えして開催しました。講師からは、仕事の内容とともに、この仕事を選んだ理由や最上地域で働く魅力などについて講演していただいた後、各ブースに分かれて体験学習を行いました。体験内容は、手洗いチェック、血圧測定、聴診器、とろみ水の作成、車いす体験、シロップ計量、軟膏練り体験など、各学校で様々な体験をしました。児童・生徒のみなさんは、講師に教わりながら興味深く取り組み、医療・介護分野への関心が高まったようです。



[保健企画課 29-1257]

## 「アンコンシャス・バイアスセミナー」 ～日々の子育ての中の無意識の思い込みに気づく～

12月13日、新庄市民プラザで山形県男女共同参画センター館長の伊藤真知子氏をお迎えし、性別に関する「アンコンシャス・バイアスセミナー」を開催し、子育て支援関係者など多くの方にご参加いただきました。

「アンコンシャス・バイアス」とは、“自分自身では気づいていないものの見方や捉え方の歪み・偏り、根拠のない思い込み”のことで、日々の子育ての中の無意識の思い込みの例を挙げながら、バイアスに気づき意識することがその解消につながる、コミュニケーションが大切とのお話がありました。

参加者は、講師の“決めつけない、押しつけない”などの言葉に熱心にメモを取りながら大きく頷いていました。また、「日常に思い込みが多いことに気づかされた。」「まずは無意識の思い込みに気づき意識することが大切。」「少しずつでも意識を変えていきたい。」などの感想をいただきました。

[子ども家庭支援課 29-1245]



## 空気の函（はこ）を沈めて橋脚づくり ～主要地方道 新庄次年子村山線 堀内橋 架け替え～

1月18日に県及び管内市町村の土木技術職員向けに現場見学会を開催しました。

舟形町の堀内橋は、昭和31年に最上川に架橋された老朽橋で、道路の幅が狭いうえに部材の損傷が著しいことから、県では、平成30年度より橋の架け替えに着手しました。橋脚基礎設置の工法に採用された「ニューマチックケソン工法」とは、基礎となるケソン下部に気密性の高い作業室を設け、空気圧により湧水を防ぎながら掘削作業を行い、所定の深さまで基礎を沈設する工法です。

この工法の「ニューマチック」とは「空気の」、 「ケソン」は「函（はこ）」という意味で、ちょうどコップを逆さまにして水中に押し込んだ状態のように、水の侵入を空気の圧力によって防ぐ原理を応用した工法で最



上管内では、16年前に国道458号の大蔵橋を架け替える際にも採用されました。

見学会に参加した28名の職員は、現在工事中的下部工の、加圧されたケソン内部へも進入・見学し、知識を深め技術力の向上を図りました。

[建設総務課 29-1391]

## 「おいしい適塩ランチ第4弾」で適塩のコツを発信！

減塩でもおいしく食べる工夫をお知らせし、毎日の食生活に役立ててもらうため、最上総合支庁食堂で「おいしい適塩ランチ」を1月19日に提供しました。今年度最後の提供です。



【メニュー】 ☆ごはん ☆具たくさん豆乳豚汁 ☆鶏のから揚げ香味ソース  
☆白菜と油あげのごま和え ☆フルーツ（みかん）

エネルギー：646 kcal 食塩相当量：2.4g 野菜使用量：185g

\*今が旬の冬野菜をたくさん使用し素材の甘さを活かす  
\*香味野菜（にら・ねぎ）を使用しアクセントをつける  
\*油あげを焼いて香ばしさアップ

適塩のコツが盛りたくさんメニューは好評でした。

こちらにレシピを掲載しております。ぜひお試しください。



### 保育園の自慢の給食レシピをご紹介します

今回は、大蔵村保育所のご協力で、「にがてなやさいのおいしい料理」を紹介していただきました。ぜひご覧ください。

[地域健康福祉課 29-1267]



## 油断による冬の事故を防ごうー雪害事故防止研修会ー

雪害による人的被害は毎年のように発生し、その原因は“ふとした油断”“過信による安全管理不足”によるものが多くを占めています。

これら雪害事故への対応として除雪作業中の事故防止を図っていくため、1月31日、雪害事故防止を目的とした研修会を開催しました。

研修では、国の克雪体制づくりアドバイザーとして活躍している二藤部 久三氏から、「データで見る雪害事故の傾向と誰もができる安全対策」として講義と屋根の雪下ろしに役立つロープワークの実技指導をしていただいたのち、除雪機安全協会の代表理事である酒井 征朱氏からは、歩行型除雪機の安全利用について、講義と実技指導をしていただきました。

毎年、降雪期には多数の雪害事故が発生しており、積雪量の少ないこの冬も、既に県内での雪害事故の発生事例が複数報告されています。

今年は屋根からの雪下ろしの機会が少ない反面、除雪中の転倒による負傷事例が目立ちます。屋根からの雪下ろしは万全な体制で臨むとともに、雪道や凍結時の歩き方にもご注意ください。



[防災安全室 29-1209]

### 除雪は必ず2人以上で！

- 屋根からの転倒による死者41%  
→ 安全帯・命綱とヘルメット、すべりにくい靴(厚底は避ける)を着よう！  
→ 命綱は使う前によく点検！  
→ スノーダンブは小回りのきくものを使おう！
- 屋根からの滑りによる死者17%  
→ 新雪や積れの日雪のゆるみに注意！  
→ 携帯電話を持って！  
→ 家族・隣近所に声をかけてから！
- 除雪機に巻き込まれた死者5%  
→ 雪詰まりの処理はエンジンを切ってから！
- 水路への転倒による死者10%  
→ 水路への警捨ての最中滑らないように注意！
- 屋根からの転倒事故の52%は、はしごから  
→ はしごは必ず固定！  
→ はしごから屋根への移動時は特に注意！
- 転落死者のうち51%が地面に強打  
→ 建物の周りに雪を残して警掃ろし！
- 除雪作業中の発作による死者8%  
→ 疲労時は作業しない！
- 転落死者のうち60%が1階の屋根から  
→ 低い屋根でも油断しない！

## 安全なお風呂の入浴術

冬は入浴事故の多い季節です。特に、60歳以上の方に多く発生しています。入浴習慣を見直し、安全で快適なお風呂ライフを楽しみましょう。

### 《安全に入浴するためのポイント》

- ① 入浴前に脱衣所や浴室を暖めておきましょう  
・ 温度の急激な変化により血圧が大きく変動するなど、身体に大きな負担がかかります。
- ② お湯の温度は **41℃以下** にしましょう  
・ 熱いお湯は急激に血圧を上昇させます。  
・ ぬるめのお湯にゆっくりつかることで、リラックス効果が高まります。
- ③ あがる時はゆっくりと立ち上がり、立ちくらみなどによる **転倒に注意** しましょう。



[地域健康福祉課 29-1267]



# お知らせ



## 「やまがた省エネ健康住宅」に住んでみませんか？



### やまぽっか

やまがた省エネ健康住宅

このようなことから考えられた、健康にもお財布にもやさしい住宅が、「やまがた省エネ健康住宅」です。

#### ○「やまがた省エネ健康住宅」

「やまがた省エネ健康住宅」とは、最も寒い時間の就寝前に暖房を切っても翌朝の室温が10度を下回らない断熱性能と、その断熱効果を高める気密性能を有する住宅をいいます。

#### ○「やまがた省エネ健康住宅」の基準・認証

山形県では、独自に3つのグレードの断熱性能(UA値)と気密性能(C値)を定めており、国の義務化基準の等級4を超える世界レベルの断熱性能の基準となります。(表1)

これらの性能を持った住宅について、県が設計・施工・完成の3段階で審査等を行い、認証するものです。

#### ○YouTubeで「やまがた省エネ健康住宅」をご覧ください！

多くの方に「やまがた省エネ健康住宅」を知って、見てもらうために、親しみやすさ抜群の動画を配信しています。ぜひ、ご覧ください。

[建築課 29-1420]

チャンネルはこちらから

冬にトイレに行こうと廊下に出るとヒヤッとすることはありませんか？断熱性能の低い住宅だと、リビングなど普段いる部屋だけを暖房するため、廊下やお風呂、脱衣場などの温度差が発生します。この温度差は、心筋梗塞などを引き起こす要因になります。

また、最近高騰している電気やガスといったエネルギーですが、断熱性能が低い住宅だと、快適な温度を保つのに多くのエネルギーを必要とします。



(表1：県と国の省エネ基準)



## 女性の健康週間



3月1日から8日は女性の健康週間です。

女性の社会進出が進み、ライフスタイルの多様化に伴い、健康課題も変化していきます。

女性が生涯を通じて健康で明るく充実した日々を過ごしていくために大切なことを、この機会に考えてみませんか。

日時：3月1日(金)～8日(金)

場所：最上総合支庁ロビー



「女性の健康」に関する情報を展示します。ぜひ、お立ち寄りください。

[地域健康福祉課 29-1267]

## 家畜(家きん)を飼われている方へ

家畜や家きん(愛玩鳥を含む)を1頭(羽)でも飼っている方は、毎年2月1日現在の飼育頭羽数などを県に報告する必要があります。

今まで報告したことがない方は、下記までご連絡ください。

《対象となる家畜の種類》

牛、水牛、鹿、めん羊、山羊、馬(ポニー含む)、豚(ミニ豚、マイクロ豚含む)、いのしし、鶏(烏骨鶏、チャボ含む)、うずら、あひる(カモ含む)、きじ、だちょう、ほろほろ鳥、七面鳥



[家畜保健衛生課 29-1357]

発行日：令和6年2月20日

発行元：山形県最上総合支庁総務企画部総務課

総合案内窓口

電話：0233-29-1360 FAX：0233-23-2605



X (旧 Twitter)

